

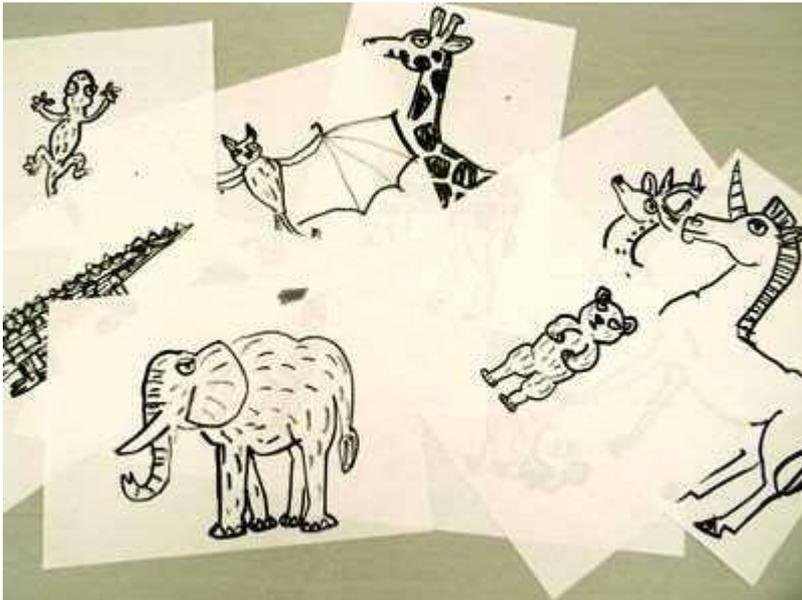
来月から始まる「アニマルズ in AAC—三沢厚彦の世界」展のために、作家の三沢さんの制作現場にお邪魔してきました。製材所の一部を間借りして、ほぼ等身大の動物が二体並んでいました（これは残念ながら今回の展覧会には出品されませんが…）。材料のクスノキの良い匂いが立ち込めています。



▲左はウマ、右は…さてなんの動物でしょう？

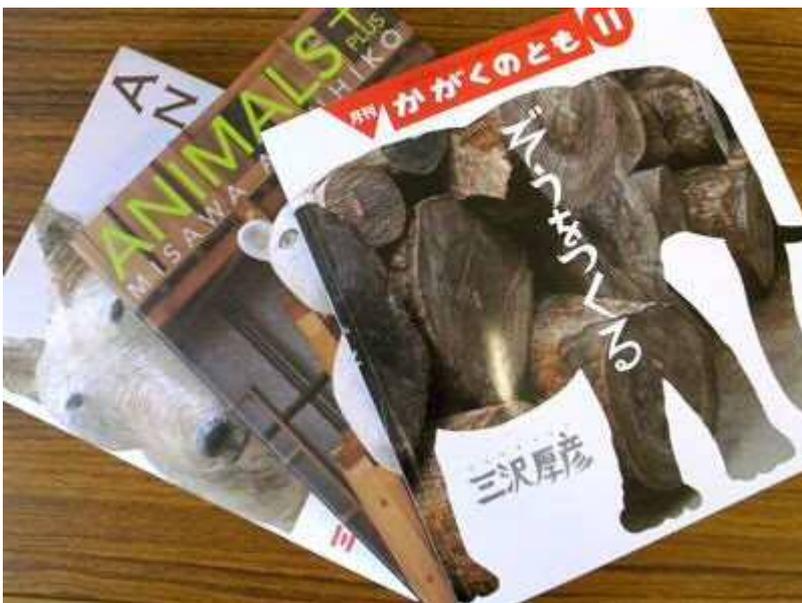
この展覧会は「あいちトリエンナーレ 2010」に向けてのプレイベントということで、通常の美術館展示室で行われるものとは違って、芸術文化センター全体を使って作品を展示します。つまり、美術館以外にも、オアシス 21 から繋がっている地下 2 階や、2 階の地上エントランス、8 階の壁面など、色々な場所に動物たちがうろうろしているということです。

展示場所が散らばっていて、いくつか見逃しちゃうお客さんもでかねないし、どうしたものか、と色々考えて、スタンプラリーをすることにしました。全部制覇した方には豪華賞品！とまではいきませんが、まあちょっとしたプレゼントは用意できるかも知れません。スタンプを作りたいという話を三沢さんにお伝えしたところ「僕が描きますよー」と快く引き受けてくださいました。ということでオリジナルスタンプができることに！



▲スタンプ用のドローイングです。

全部で16体ほど展示するんですが、ひとつひとつがものすごく大きくて重い。一番大きなゾウは600kg前後あるそうです。だから輸送も展示も大仕事。展示場所まで移動する経路を確保するために、美術館の入口ガラス扉をこのために一時外してもらうなど、綿密な計画を立てておかないと、「やばい、これ入らないじゃん…」と当日途方にくれてしまうなんてことになりかねません。



▲ゾウができるまでの様子は絵本になっていますよ。

皆さんが来館されたときには、動物たちが無事のびのびと芸文センターを占拠(?) できていますように！展示の様子はまた後日お伝えしたいと思います。

(記事タイトルは回文です。内容とはあんまり関係ありません)

(KS)